

社保シリーズ

# 診療情報連携共有料と周術期等口腔機能管理

6

社保研究部

今回は診療情報連携共有料と周術期等口腔機能管理を解説する。

## 症例解説

かかりつけの内科医から病院で手術を予定する糖尿病患者を紹介され、手術前後の周術期口腔機能管理と歯周病治療を実施する症例。

診療情報連携共有料は慢性疾患を有する患者であって、全身的な管理が必要な患者に対し、患者の同意を得て歯科以外の保険医療機関に投薬内容や検査結果を尋ねる場合に、算定する(10/4)。照会先の医療機関ごとに算定が可能で、診療情報の提供を求めた月から3月に1回の算定となる。

### 診療情報提供をを求める文書の記載必要事項

- 患者の氏名、生年月日、連絡先
- 診療情報の提供依頼目的(必要に応じて傷病名、治療方針などを記載する)
- 診療情報の提供をを求める医療機関名
- 診療情報の提供を求める内容(検査結果、投薬内容など)
- 診療情報の提供を依頼する保険医療機関名および担当医名

症例では、内科の主治医とは別に手術実施予定の病院へ、投薬内容の情報提供と合わせて手術に係る口腔機能管理の必要性について照会している。これに対し、病院から周術期口腔機能管理の依頼があった。

周術期口腔機能管理計画の策定は、手術などを実施する医療機関からの依頼文書に基づいて策定する。また、周術期等口腔機能管理計画策定料(周計)は、その手術などに係る一連の治療を通じ1回の算定で、管理計画書の患者への提供も算定要件になっている。

計画に基づき、周術期等口腔機能管理が始まる。症例では、11月5日が手術予定のため、術前に周術期等口腔機能管理料(I)(周I)を算定し、術後合併症予防のための指導をしている(10/15)。周Iは算定ごとに、管理内容を患者に文書提供する。

退院後の来院によって管理している。術後の周Iは、手術後3月以内に3回算定できるため、同月に複数回算定できる(11/17, 11/27)。手術前と手術後で周Iの点数や算定回数に違いがある。

口腔管理が術後の予後や入院日数減少などに寄与することが広く知られるようになり、手術を実施する医療機関から依頼が増えてきている。一つの参考としていただきたい。

### 磁性アタッチメント義歯材料追加

磁性アタッチメント義歯の材料に、(株)ケディカのフィジオマグネットに加え、愛知製鋼(株)のマグフィットMが10月1日から適用となった。従来の鋳接法とは異なりキーパーをレジンセメントで接着する術式の製品として販売される。

投薬や検査内容の診療情報を求める医科の医療機関が複数ある場合それぞれ算定できる

管理計画書の記載内容  
 基礎疾患の状態・生活習慣  
 主病の手術などの予定または実績  
 口腔内の状態など(現症および手術などで予測される(生じた)変化など)  
 周術期等の口腔機能管理で実施する内容  
 主病の手術などに関する患者の日常的なセルフケアについての指導方針  
 その他必要な内容  
 保険医療機関名およびその管理を行う歯科医師の氏名

依頼元の保険医療機関名を摘要欄に記載する

周計と周術期口腔機能管理料は同日算定ができる

周術期口腔機能管理料算定の際は、管理報告書を患者に提供する

周Iは術後3カ月以内3回算定可

部位	傷病名	診療開始日
7 6   6 7	P <sub>2</sub>	令和3年10月4日
$\frac{5}{7} \text{---} \frac{5}{7}$	P <sub>1</sub>	令和3年10月4日
〔年齢〕 57歳男性		
〔主訴〕 手術を受けるので口の中を綺麗にしてほしい		
〔所見〕 全体的に良好であるが、上顎臼歯部動揺(+)		

月日	部位	療法・処置	点数
10/4		初診 (261)	261
		〇〇内科から胃ガン手術予定の糖尿病患者の紹介	/
	$\frac{7}{7} \text{---} \frac{7}{7}$	パノラマX-Ray パ電(検査結果略)	(402) 402
		P基検	(200) 200
		SC (72+38×5)	262
		P基処(H <sub>2</sub> O <sub>2</sub> )	(10) 10
		情共(文書略)	(120) 120
		〇〇内科に糖尿病の検査結果を文書で照会	/
		情共(文書略)	(120) 120
		手術実施の△△病院へ投薬内容、検査結果、手術に係る口腔機能管理の必要性について照会	/
10/11		再診 (53+1)	54
		〇〇内科から糖尿病に係る文書提供	/
	$\frac{7}{7} \text{---} \frac{7}{7}$	P基検	(200×50/100) 100
		P画像5枚	(10+10×4) 50
	$\frac{7-4}{7-4}$	SRP	(64×4+72×4) 544
10/15		再診	54
		△△病院から投薬情報、治療方針、周術期の口腔機能管理依頼が文書で届く。手術は11月5日	/
		周計(管理計画書提供)	(300) 300
		周術期の術前に歯周治療を行い、手術前の口腔ケアを患者に指導。管理計画書を提出	/
		周I(術前)	(280) 280
		術後合併症予防のため口腔内清掃方法を指導	/
	$\frac{4-7}{4-7}$	SRP	(64×4+72×4) 544
10/18		再診 (53+1)	54
	$\frac{3}{3} \text{---} \frac{3}{3}$	SRP	(60×12) 720
10月分 4日分 4,075点			
11/1		再診 (53+1)	54
	$\frac{7}{7} \text{---} \frac{7}{7}$	P基検	(200) 200
		P基処(H <sub>2</sub> O <sub>2</sub> )	(10) 10
		術前の歯清も実施	/
11/7		再診 (53+1)	54
	$\frac{7-4}{7-4}   \frac{4-7}{4-7}$	再SRP	(64×4+72×4)×50/100 272
		周I(術後)文書提供	(190) 190
		口腔ケアがやや滞りプラーク付着	/
11/27		再診 (53+1)	54
	$\frac{7}{7} \text{---} \frac{7}{7}$	再SRP	(64×4+72×4)×50/100 272
		周I(術後)文書提供	(190) 190
		炎症改善傾向。就寝前はしっかり磨くよう指示	/
11月分 3日分 1,296点			